


総社平野、瀬戸内海を一望する中世の山城

福山城跡



指定区分	国指定史跡
読みかた	ふくやまじょうあと
所在地	総社市西郡
指定年月日	昭和11年12月16日
解説	<p>鎌倉末期に真壁小六是久が築城した中世の山城跡。標高302mの福山は、古代より山岳仏教の寺院・福山寺があり、山頂部には平坦化された寺域と礎石がみられる。南北朝時代に後醍醐天皇方の新田義貞配下の武将大井田氏がこの城に拠って、九州から都に攻めのぼる足利直義の大軍を迎え撃った「福山合戦」の地として有名。</p>
アクセス方法	JR清音駅から駐車場まで約2km
公開状況	自由
設備	清音三因の歴史広場 駐車場 
備考	駐車場から山頂までは徒歩で約40分です。登山道は長く急な坂道もありますが、道幅も広く、整備されています。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	福山城跡
よみかた	ふくやまじょうあと
しょざいち (所在地)	総社市西郡
していたひ (指定した日)	昭和11年12月16日
せつめい	鎌倉時代(かまくらじだい)のおわりごろに築(きず)かれた山城(やましろ)の跡(あと)です。この山には古代(こだい)からお寺(てら)などもありました。1336年(ねん)には「福山合戦(ふくやまがっせん)」という大(おお)きくて有名(ゆうめい)な戦(いくさ)がありました。